

トータルに学ぶ  
6日間コース

2022年度 公開講座

管理・監督者養成講座

選べる!!  
来場&WEB  
受講

# メンテナンス・フォアマンコース ～係長・工長・組長・職長クラス～

第一線で活躍  
する管理者を  
講師に招いて  
講義

管理・監督者  
に必要なスキルを  
総合的に学ぶ!!  
実務力・改善力  
人材育成力・  
管理力

参加者同士  
の交流で  
人脈形成を  
めざします

2023年

日時：1月18日(水)▶20日(金), 2月15日(水)▶17日(金) 9:30~17:00

会場：WEB受講またはJIPM中部研修室(名古屋市中村区名駅4-23-13)

※WEB受講は、WEBシステム「Zoom」によるライブ型受講です

## 講座の特徴

- ・ 第一線のベテラン管理者が企業事例を紹介しながら講義します
- ・ 保全・設備部門の監督者が実際に抱える問題を中心に「管理能力」「実務能力」「改善能力」「人材育成能力」をバランスよく学べるプログラム構成です
- ・ 参加者同士の交流を重視。グループ討議をとおして現場での問題や現状を情報交換するなど、実践に繋がります
- ・ 参加者同士の交流をとおして、人脈形成を図ります

## 対象

工務・保全・設備部門の管理監督者  
(係長・工長・組長・職長クラス)  
およびその候補者

## 到達目標

管理・監督者として必要なスキルを習得し、  
メンバーとともに現場改善を積極的に推進で  
きるリーダーとしてのスキルを身につけ、実  
践できる

新型コロナウイルス感染防止に配慮し開催します

★詳細は裏面を御覧ください★

対策については  
webサイトをご参照ください

防止対策について

<https://www.jipm.or.jp/offer/?id=1594282913-296511>



お問い合わせは  
こちらまで

TEL 052-561-5634  
E-Mail [jipmchuubu@jipm.or.jp](mailto:jipmchuubu@jipm.or.jp)

(公社)日本プラントメンテナンス協会  
中部事務所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル3階

<当コースで習得をめざす能力>

管理能力

- ・設備保全のPDCAのサイクルを回し、着実に成果を上げる
- ・常に改善を心がけ、仕事の効率アップを図る
- ・PQDSMEの目標を達成しつつ、保全コスト管理、部門原価管理を適切に行う

実務能力

- ・設備保全システムを理解し、計画保全活動の指導を行う
- ・計画保全の仕組みの構築を計画的に行い、設備効率の向上・生産性の維持向上を適切にリードする
- ・設備・製品の異常を早期に発見し、処理するだけでなく、再発予防の仕組み構築を図る

改善能力

- ・設備ならびに生産システムの信頼性・安全性向上を目指して改良保全を促進する
- ・現場でのトラブル(異常)に対して、現象・現実・現場を正確に捉え、技術的な解析・分析などから、設計上の改良点を見出し、設計・生産技術などの上流部門に改善提案を積極的に行う

人材育成能力

- ・部下各人の技能や能力評価を的確に行うとともに、その結果に基づいて技能向上・伝承を図る
- ・小集団活動に適切な指針・指導・支援を行って、適切な動機づけにより、総合力の発揮を図る
- ・運転部門の自主保全活動や、個別改善活動に関して、専門技術面や活動促進の指導・支援を適切に行う

<p>1日目</p>	<p>【オリエンテーション】</p> <p>第1章 TPM総論</p> <p>1-1 モノづくりとTPM概要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本のモノづくりを支える生産管理</li> <li>2. 日本のモノづくり</li> <li>3. 設備管理の意義と目的</li> <li>4. TPMの普及状況と効果ならびに必要性について</li> <li>5. TPMとはなにか</li> </ol> <p>1-2 設備保全</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 生産効率の極限追求</li> <li>7. 生産活動における生産阻害とは</li> <li>8. 設備保全方法について</li> <li>9. 保全の役割</li> <li>10. 専門保全部門の体質づくり</li> </ol>	 <p>株式会社 デンソー 生産調査部 TPM改革室 1課 担当課長</p> <p>伊藤 透 氏</p>
<p>2日目</p>	<p>第2章 フォアマンの役割と安全・衛生管理</p> <p>2-1 保全職制(リーダー・第一線監督者)としての管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保全職制としての管理</li> <li>2. 管理指標の運用</li> <li>3. 主な指標</li> <li>4. 今リーダーに期待されている事は何か?</li> <li>5. リーダーとしての自己啓発</li> <li>6. 人的魅力のあるリーダー</li> </ol> <p>2-2 人材育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. メンバーの成長を促す育成の進め方</li> <li>8. メンバーの育成</li> <li>9. 人材育成とスキルの伝承</li> </ol> <p>2-3 自主保全活動の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>10. 自主保全活動</li> </ol> <p>2-4 安全・衛生と環境管理体制づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 環境管理体制づくりの重要性</li> <li>12. 安全の基本方針</li> </ol>	 <p>豊田合成株式会社 美和技術センター 生産管理部 モノづくり推進室 GL</p> <p>岩田 光司 氏</p>
<p>3日目</p>	<p>第3章 設備管理における設備づくりと導入</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. MP活動とは</li> <li>2. 設備管理におけるMP活動の位置付け</li> <li>3. MP活動の重点と活動範囲</li> <li>4. 設備が具備すべき 基本的な機能要素の設計段階からの確保</li> <li>5. 設備・製品初期管理における製造の役割と活動</li> <li>6. 設備の初期流動管理段階の各ステップにおける デバッグの実際</li> <li>7. MP情報の収集と活用</li> <li>8. MP設計事例</li> <li>9. 新設備導入業務への参画</li> </ol>	 <p>アイシン高丘 株式会社</p> <p>生産技術本部 CN生技部 工程改革T 主査</p> <p>松本 哲之 氏</p>

## <受講者の声>

- ・講義の中で紹介される事例や実例が、実践的で職場で抱えている課題と似ているため、すぐに役立てられると思った
- ・講義内容が講師の体験にもとづく経験談なので、大変わかりやすく、心に残る講義だった
- ・教え方が堅苦しくなく、重要ポイントに絞って講義されるため、よく理解できた
- ・今まで自分が仕事を通じて学んできたことの振り返りと再整理ができ、新たな改善の方向を見出す良いきっかけとなった
- ・グループワークを通じて、他社の現状や状況を知れ、自社の仕組みや自分のやり方を見直すことができた



セミナー終了後にご回答いただいた「受講者アンケート」より抜粋

4日目

### 第4章 工事管理

1. 工事管理とは
2. 計画の重要性・必要性
3. 役割分担の明確化
4. 日程計画と余力管理
5. 計画保全の推進
6. 設備保全基準
7. 進捗管理
8. 計画保全システムの維持・管理
9. 資材計画
10. 日常保全の実施

株式会社  
豊田自動織機  
生産管理部 生産管理室  
浅井 哲夫 氏



5日目

### 第5章 設備故障低減と保全予算管理

- 5-1 故障低減
1. 故障ゼロへのアプローチ
  2. 問題解決への取組み方
  3. 故障を早く復旧する改善
  4. 故障を再発させない改善活動
  5. 安く実施する改善活動
- 5-2 保全予算管理
6. 保全予算の策定
  7. 保全費管理

大同特殊鋼株式会社  
モノづくり改革部 DMK推進室  
主任部員  
島ノ江 高弘 氏



6日目

### 第6章 予備品管理

1. 予備品管理の基本的考え方
2. 予備品管理方法の設定
3. 発注方式の決定
4. 予備品管理システム・フロー
5. 予備品の保管
6. 棚卸

トヨタ自動車  
株式会社  
生産管理部  
資材管理課  
資材管理G 主幹  
鈴木 義和 氏



#### 【まとめ】

- ロードマップ作成
- フォアマンのみなさんに期待すること

#### 【修了証 授与式】

トヨタ自動車  
株式会社  
グローバル生産推進センター  
保全マネジメント支援室  
保全ショップG 主幹  
河村 道夫 氏



# 講 座 概 要

## <コース概要>

組織をまとめ改善を推進する保全リーダーを養成する総合プログラムです。

全6章6日間のプログラム構成で、各日、内容に造詣の深い企業のベテラン管理者が講義を実施します。

章のテーマに合わせ、企業での取組み事例を交えながら、講義をおこない、講義内でグループ討議を実施し、講義内容の理解を深めます。

グループ討議を通じて、日頃感じている疑問や課題について、改めて考える機会になるとともに、プレゼン・まとめるスキルを養い、企業の垣根を越え参加者同士の交流を図ることができ、人脈形成につながります。

また、ロードマップを作成し、各自の将来の目標を描いていただくことで、受講後の成長を促します。

本講座は、全プログラムを修了した方に、修了証を授与いたします。

<使用テキスト> 「メンテナンス・フォアマンコース」オリジナルテキスト

## <プログラム> ※中面をご参照ください

- 第1章 TPM総論
- 第2章 フォアマンの役割と安全・衛生管理
- 第3章 設備管理における設備づくりと導入
- 第4章 工事管理
- 第5章 設備故障低減と保全予算管理
- 第6章 予備品管理

- ・ロードマップの作成（6日目午後）
- ・全体まとめ（6日目午後）
- ・グループ討議（各日）
- ・質疑応答（各日）



## <受講方法>

WEB受講または会場受講 ※ご選択可能です

WEB受講は、WEB会議システム「Zoom」により、会場と受講者をつなぐライブ受講です。

会場受講は、「JIPM中部研修室」にお越しください。



JR、名鉄、近鉄  
地下鉄  
「名古屋」駅  
から徒歩7分

〒450-0002名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル3階

## 受講申し込み規定・ご案内

### 1. 参加料

(公社)日本プラントメンテナンス協会 (正会員、事業所会員) (一社)日本能率協会 法人会員	132,000円/人(税込) (本体価格120,000円 消費税12,000円)
一 般	220,000円/人(税込) (本体価格200,000円 消費税20,000円)

※参加料には、テキスト（資料）代が含まれております

※昼食のご提供はございません

会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。

- ・(公社)日本プラントメンテナンス協会 <https://www.jipm.or.jp>
- ・(一社)日本能率協会 <https://www.jma.or.jp>

### 2. 参加お申込み・参加料お支払い方法

●当会HPの専用申し込みフォームよりお申し込みください

URL : <https://info-jipm.jp/>

電話でのお申込みは受け付けておりません

●開催の3週間前より、派遣窓口ご担当者様宛に受付票・事前アンケートと請求書を送付いたしますので、開催後1ヵ月以内に、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込手数料は貴社にてご負担ください

### 3. お願い・お断り

- 録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします
- ご参加予定の方が当日お越しにならない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規程によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください

#### <新型コロナウイルス感染防止対策にかかるお願いとお断り>

- ・来会にあたっては必ずマスクの着用をお願いします
- ・熱が37.5度以上ある場合はご参加できません
- ・会場内では会話は小声にし他の受講者と一定の距離を保つように努めてください
- ・会場設置の消毒液で必ず手指消毒をお願いします
- ・発熱、咳・咽頭痛など風邪のような症状がある方、基礎疾患をお持ちの方で感染リスクを心配される方のご参加はお控えください
- ・体調が悪そうな方にはお声がけしご退出をお願いする場合がございます

※キャンセルはWEBサイトよりお願いします URL : <https://info-jipm.jp/contact/>  
開催当日および前日の取消し：参加料全額 開催の2日前～7日間の取消し：参加料の30%  
(いずれも土日曜・祝祭日は、上記日数に含まれません)

### 4. お申し込み・講座内容のお問合せ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 普及推進部 中部事務所  
愛知県名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル3階

電話番号：052-561-5634 E-Mail : [jipmchubu@jipm.or.jp](mailto:jipmchubu@jipm.or.jp)

#### ■免責事項

天災地変や伝染病の流行、受講環境、輸送機関のサービスの停止、官公庁の指示などの当会が管理できない事由により研修内容の一部変更及び中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます。